

平成30年度主な施策等一覧（消防局）

区 分	事 項	予 定 額 千円	頁
新 規	災害情報収集機能の強化	8,215	1
	聴覚・言語機能障害者のための緊急通報システムの導入	4,610	2
	名古屋駅周辺の救急需要への対応強化	33,207	3
拡 充	消防団を中核とした地域防災力の強化	79,618	4
	消防団装備の充実	32,000	5
	西消防署のセミリニューアル改修	96,559	6
	尾頭橋出張所リニューアル改修の設計	4,000	7
	消防活動用バイクの購入	9,315	8
	家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣	10,000	9
	木造住宅密集地域における初期消火資器材の導入	28,413	10
継 続	瑞穂消防署のリニューアル改修	204,035	11
	防火水槽の耐震補強	99,000	12
	消防車両の購入	682,649	13
	消防署非常用発電機の整備	145,086	14

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(新規) 災害情報収集機能の強化	草案頁	30 頁
予 定 額	8, 215 千円		
事業の概要	1 趣旨 大規模火災等の災害発生時における情報収集機能の強化を図るため、無人航空機（ドローン）及びリアルタイムでの映像送信が可能な資機材を導入する。 2 事業概要 (1) 隊員が進入できない場所の状況を確認するため、災害状況をふかんに撮影することが可能な無人航空機（ドローン）を導入する。 (2) 地上において活動する隊員目線で捉えた映像の撮影が可能なウェアラブルカメラを導入する。 (3) 無人航空機及びウェアラブルカメラの映像をリアルタイムで警防本部へ送信し災害情報の共有化を図る。		
担 当 課	消防部消防課 消防部指令課	電話 9 7 2 - 3 5 6 0（内線：3 5 6 0） 電話 9 7 2 - 3 5 2 4（内線：3 5 2 4）	

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(新規) 聴覚・言語機能障害者のための緊急通報システムの導入	草案頁	30 頁
予 定 額	4, 610 千円		
事業の概要	1 趣旨 会話に不自由な聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等の画面上での操作により、音声によらずに 119 番通報ができるシステムを導入する。 2 導入予定のシステム概要 ・ 総務省消防庁が定めた共通仕様により、全国どこから通報しても通報場所を管轄する消防本部に通報ができる。 ・ GPS 等の測位情報から、通報場所の特定が容易になる。 ・ 通報者とのチャット形式での会話により、詳細な状況等の聞き取りができるため、円滑な情報収集ができる。		
担 当 課	消防部指令課 電話 9 7 2 - 3 5 2 4 (内線 : 3 5 2 4)		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(新規) 名古屋駅周辺の救急需要への対応強化	草案頁	30 頁
予 定 額	33,207 千円		
事業の概要	1 趣旨 名古屋駅及びその周辺の救急需要への対応を強化するため、救急隊待機場所等を整備する。 2 救急需要への対応強化の概要 (1) 特別消防隊第二方面隊に配置する救急隊を名古屋駅直近へ、救急需要が高い時間帯に限定して再配置し、名古屋駅及びその周辺における救急需要への体制強化を図る。 (2) 名古屋駅直近に再配置する救急隊の体制等 ・ 名古屋駅直近への再配置は、救急隊 1 隊（救急自動車 1 台及び救急隊員 3 人以上）とする。 ・ 再配置の時間帯は、原則、365 日 9 時から 20 時までとする。 ・ 救急隊待機場所及び救急車駐車場は、J R ゲートタワーとする。 3 実施内容 ・ 指令管制システムの整備 ・ 待機場所等の借上げ ・ 救急活動用資器材の購入等		
担 当 課	救急部救急課 総務部施設課	電話 9 7 2 - 3 5 6 3（内線：3 5 6 3） 電話 9 7 2 - 3 5 1 7（内線：3 5 1 7）	

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 消防団を中核とした地域防災力の強化	草案頁	30 頁
予 定 額	79,618 千円		
事業の概要	1 趣旨 地域防災力の更なる強化を図るため、消防団活動の充実強化や、消防団員による防火防災の普及促進を実施する。併せてこれらの活動に必要な出場手当の充実を図る。 2 事業概要 (1) 消防隊との合同訓練 地震発生時に早期に消防体制を確立するために、消防隊と消防団が連携し、初動の段階で多数の消防隊が編成できるよう、消防隊と消防団による実践的な合同訓練を実施する。 (2) 地域防災力向上に向けた防災指導 自主防災組織の防災力向上のほか、家庭の防火防災対策を促進するため、消防団員による個別訪問を通じた防災指導を実施する。 3 出場手当の支給額 - 消防隊との合同訓練 1,000円／回 - 地域防災力向上に向けた防災指導 1,000円／回 (個別訪問)		
担 当 課	消防部消防課 電話 972-3561 (内線: 3561)		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 消防団装備の充実	草案頁	30 頁
予 定 額	32,000 千円		
事業の概要	1 趣旨 災害時の消防隊と消防団の連携活動を強化するため、消防団装備の充実を図る。		
	2 事業概要 現有装備と比較し、性能の高い資器材に更新整備		
	(1) 発電機 定格出力及び連続運転可能時間を強化		
		現有	更新後
	定格出力	300W	900W
	連続運転可能時間	1.8 時間	3.2 時間以上
	(2) 投光器 照度を強化		
		現有	更新後
	照度	200W	500W以上
	3 整備規模 発電機：各消防団1台 投光器：各消防団1器		
担 当 課	消防部消防課 電話 972－3561（内線：3561）		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 西消防署のセミリニューアル改修	草案頁	30 頁						
予 定 額	96,559千円								
事業の概要	1 趣旨 築49年が経過した西消防署について、老朽化した消防庁舎の セミリニューアル改修を実施する。								
	2 整備概要 建築物、設備の老朽化への対応 (1) 屋上防水・外壁・内装の改修 (2) 給排水設備・空調設備の更新 (3) 非常用発電設備の更新 (4) 自家用給油取扱所の更新								
	3 事業スケジュール								
	<table><tr><td>年 度</td><td>内 容</td></tr><tr><td>29</td><td>設 計</td></tr><tr><td>30～31</td><td>工 事</td></tr></table>			年 度	内 容	29	設 計	30～31	工 事
	年 度	内 容							
29	設 計								
30～31	工 事								
4 西消防署 所 在 地： 西区児玉二丁目25番22号 庁舎概要： 構 造 鉄筋コンクリート造地上4階建 敷地面積 1,877.66㎡ 延床面積 1,456.08㎡（本庁舎） 建築年度： 昭和43年									
担 当 課	総務部施設課 電話972-3517（内線：3517）								

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 尾頭橋出張所リニューアル改修の設計	草案頁	30 頁						
予 定 額	4, 000 千円								
事業の概要	1 趣旨 築50年が経過した中川消防署尾頭橋出張所について、老朽化した消防庁舎のリニューアル改修を実施する。 2 整備概要 建築物、設備の老朽化への対応 (1) 屋上防水・配管・配線・内装の改修 (2) 給排水設備・空調設備の更新 (3) 個室仮眠室の整備 (4) 女性消防官の執務環境整備 3 事業スケジュール <table><tr><td>年 度</td><td>内 容</td></tr><tr><td>30</td><td>設計</td></tr><tr><td>31</td><td>工事</td></tr></table> 4 中川消防署尾頭橋出張所 所 在 地： 中川区尾頭橋一丁目1番41号 庁舎概要： 構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階建 敷地面積 402.53㎡ 延床面積 283.48㎡ 建築年度： 昭和42年			年 度	内 容	30	設計	31	工事
年 度	内 容								
30	設計								
31	工事								
担 当 課	総務部施設課 電話972-3517（内線：3517）								

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 消防活動用バイクの購入	草案頁	30 頁
予 定 額	9, 315 千円		
事業の概要	1 趣旨 災害時の初動活動の迅速化を図るため、機動性の高い消防活動用バイクを導入する。 2 対象車両 消防活動用バイク 2 両 (消火資器材積載車 1 両・救助資器材積載車 1 両) 3 配置予定場所 名東消防署 4 有効な活用が見込まれる事案 ・ 高速道路上における災害 ・ 道路が狭いなど消防車両の接近が困難な地域における災害		
担 当 課	総務部施設課 電話 9 7 2 - 3 5 1 8 (内線 : 3 5 1 8)		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣(区提案連携事業)	草案頁	32 頁
予 定 額	10,000 千円		
事業の概要	1 趣旨 発生が懸念される南海トラフ巨大地震における被害軽減を目的とし、家具の固定が自らできない市民に対する支援のため、地域に家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣を実施する。 2 事業概要 (1) ボランティアの養成 ・ ボランティア養成講座 ・ ボランティア養成実践研修 ・ ボランティアスキルアップ研修 (2) ボランティアの派遣 災害時要援護者等の世帯に対し派遣を実施する。 (3) 実施区 ・ 新規実施：東区、北区、西区、中区、天白区 ・ 継続実施：千種区、中村区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、守山区、緑区、名東区 (参考) 区提案連携事業とは、区と局が共に、地域での課題解決に所管局予算として取り組む事業		
担 当 課	予防部予防課 電話 972-3543 (内線：3543)		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(拡充) 木造住宅密集地域における初期消火資器材の導入	草案頁	32 頁
予 定 額	28,413 千円		
事業の概要	1 趣旨 大規模地震火災による被害の軽減を地域住民主体で実施できるよう、火災延焼の危険性が特に高い地域に、新たな初期消火資器材（スタンドパイプ）の配置を行い、初期消火体制の強化を図る。 2 事業内容 (1) 住民主体で被害軽減に取り組む機運が高く、他の地域と比較して火災延焼の危険性が高い木造住宅密集地域に対し配置を行う。（29年度の御劔学区における試行配置を踏まえ、30年度は116自主防災会へ導入。） (2) 他の木造住宅密集地域への導入に向けた調整等を行う。 初期消火資器材（スタンドパイプ）		
担 当 課	予防部予防課 電話 972-3544（内線：3544）		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(継続) 瑞穂消防署のリニューアル改修	草案頁	30 頁						
予 定 額	204,035 千円								
事業の概要	1 趣旨 築51年が経過した瑞穂消防署について、老朽化した消防庁舎のリニューアル改修を実施する。 2 整備概要 (1) 建築物、設備の老朽化の対応 ・ 外壁の改修 ・ 講堂棟の新築 ・ 給排水設備、電気設備、非常用発電設備の更新 (2) ユニバーサルデザインへの対応 ・ 多機能トイレ、エレベーター、スロープの設置 (3) 職員の執務環境の向上 ・ 女性消防隊員の執務環境の整備 ・ 仮眠室の個室化 3 事業スケジュール <table><tr><td>年 度</td><td>内 容</td></tr><tr><td>27</td><td>設 計</td></tr><tr><td>28～30</td><td>工 事</td></tr></table> 4 瑞穂消防署 所 在 地： 瑞穂区北原町3丁目17番地 庁舎概要： 構 造 鉄筋コンクリート造4階建 敷地面積 2,072.72㎡ 延床面積 1,429.89㎡ 建築年度： 昭和41年			年 度	内 容	27	設 計	28～30	工 事
年 度	内 容								
27	設 計								
28～30	工 事								
担 当 課	総務部施設課 電話972-3517（内線：3517）								

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(継続) 防火水槽の耐震補強	草案頁	30 頁								
予 定 額	99,000 千円										
事業の概要	1 趣旨 地震時に発生が予想される同時多発火災に備え、既存防火水槽の耐震補強を実施する。										
	2 工事基数 33 基										
	3 スケジュール										
	<table><tr><td>年 度</td><td>事 業 内 容</td></tr><tr><td>24・25</td><td>調 査</td></tr><tr><td>26</td><td>実施設計</td></tr><tr><td>27～30</td><td>工 事</td></tr></table>			年 度	事 業 内 容	24・25	調 査	26	実施設計	27～30	工 事
	年 度	事 業 内 容									
24・25	調 査										
26	実施設計										
27～30	工 事										
※ 全整備予定数：133 基											
	4 工事内容 既存防火水槽内面への炭素繊維シートの貼付け等による補強										
担 当 課	消防部消防課 電話 972－3560（内線：3560）										

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(継続) 消防車両の購入	草案頁	30 頁
予 定 額	682,649 千円		
事業の概要	1 趣旨 経年により老朽化した車両の更新を行う。 2 対象車両 ・ 救急車 4 両 ・ タンク車 5 両 ・ はしご車 1 両 ・ 排煙照明車 1 両 ・ 救助車 2 両 ・ 指揮官車 2 両 ・ 指揮車 2 両 ・ 防災支援車 1 両		
担 当 課	総務部施設課 電話 972-3518 (内線: 3518)		

平成 30 年度主な施策等一覧

消防局

事 項	(継続) 消防署非常用発電機の整備	草案頁	3 1 頁
予 定 額	1 4 5, 0 8 6 千円		
事業の概要	1 趣旨 発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等発生時に、防災活動拠点として災害対応に支障が出ない体制を維持するために、非常用発電機の機能強化に向けた設計及び整備を行う。		
	2 整備概要 非常用発電機及び燃料タンクの更新、増強電源切換盤の改修等を行う。		
	3 対象消防署		
	対 象	設 計	工 事
	中村消防署	2 9 年度	3 0 年度
	南消防署	2 9 年度	3 0 年度
	北消防署	3 0 年度	3 1 年度
担 当 課	総務部施設課 電話 9 7 2 - 3 5 1 7 (内線 : 3 5 1 7)		